

Press Release

【報道関係各位】

2023年7月吉日
ポーラ美術館心をゆさぶるホスピタリティで、地域コミュニティとともに新たなステージへ
ポーラ美術館 館長交代のお知らせ

ポーラ美術館（神奈川県箱根町）は、2023年7月1日付で現館長の木島俊介が退任し、新館長には、ホテル業界における女性総支配人の先駆者的存在である、野口弘子が就任することをお知らせします。

木島俊介は、2014年7月以来9年間にわたりポーラ美術館を率いてきました。在任中は国際的なネットワークと美術評論家としての豊富な知見のもと、新たな作品収集活動や「ピカソとシャガール」展、「モネとマティス」展などコレクションの魅力をより高める展覧会企画に関わり、開館10周年を経て活動の広がりを見せる当館の発展に貢献しました。

木島の任を引き継ぐ野口弘子は、2006年から11年間箱根の地で、日本人女性として初めて国際的ラグジュアリーホテルの総支配人を務めるなど、ホスピタリティのプロフェッショナルとして数多くの実績を重ね、グローバルに活躍しています。国際的な感覚をもったリーダーシップのもと、箱根の地域との結びつきの強化や「おもてなし」の抜本的な見直しによる体験価値の向上に手腕を発揮することを期待し、新館長への就任決定の運びとなりました。

国際的な人の往来が回復し、箱根が改めて注目されるいま、ポーラ美術館は新たな体制のもと、2032年ビジョンとして掲げる「心をゆさぶる美術館」の実現に向けて、地域に開かれた美術館として新たなステージへと向かいます。

■野口弘子（のぐちひろこ）略歴



長崎県生まれ。長崎ハウステンボス開業プロジェクトや、ザ・ウィンザーホテル洞爺のホテル再建プロジェクトを経て、アーサー・アンダーセン GMD のホスピタリティ部門にてホテルのコンサルティングに従事。2002年より「パーク ハイアット 東京」マーケティング・コミュニケーションズ部長、セールス&マーケティング支配人を務める。06年、「ハイアット リージェンシー 箱根 リゾート&スパ」総支配人に就任。日本人女性として初めての国際的ラグジュアリーホテルのトップとなり、開業準備から11年間指揮をとる。

17年「ハイアット リージェンシー 瀬良垣アイランド 沖縄」の総支配人に就任。20年より箱根に拠点を戻し、ホテル運営、開発、経営等のコンサルティングやコーチングに従事。また、ホテル総支配人育成プログラム「GM GYM」で将来を背負う人材育成に携わる。

<本件に関するお問い合わせ先>

ポーラ美術館 広報担当 : 田中、稲見 TEL: 0460-84-2111
ポーラ美術館 広報事務局: 大野、岡 TEL: 03-5572-7351 (株式会社プラチナム内)
E-mail: polamuseum-pr@vectorinc.co.jp

館長就任にあたって

2023年7月より、ポーラ美術館の館長職を務めさせていただくこととなりました。箱根の森にとけこむ鑑賞空間として誕生したポーラ美術館は、豊富なコレクションを独自のキュレーションのもとで展示・公開し、アートとの特別で豊かな出あいを提供してきました。

創設者の故・鈴木常司（ポーラ創業家二代目）が、「箱根の自然と美術の共生」というコンセプトのもとで当館に期待したもののや、その後、森の遊歩道の整備・拡張や現代美術の展示・収集に本格的に取り組むなど活動の広がりの中で培ってきた固有の魅力を踏まえ、今日求められるポーラ美術館像を新たに模索してまいりたいと考えています。

また、これまで歴代の館長が築いてきたものを継承し、これをさらに発展させていきたいと考えています。

今後の指針を三つ挙げたいと思います。

一つ目は、箱根の地域コミュニティとの繋がりをさらに強めていくことです。2006年から11年間箱根に居住し、箱根を愛するからこそ、この地域の方々とさらに密接な関係を深めていく中で、ポーラ美術館の存在感を高めるとともに地域の活性化に貢献していきたいと思っています。

二つ目は、美術館の活動全般において「ホスピタリティ」を強く意識していくということです。これまでのホテル運営で培ってきた接客やサービスはもちろん、心地よくお客様をお迎えするためのフィロソフィを取り入れ、多様な価値観に敬意を払いながら、お客様、従業員、地域の方々など美術館を取り巻くすべてのステークホルダーの満足度を引き上げ、唯一無二の場所としてのポテンシャルを広げていくことを指針としたいと思います。

そして三つ目は、体験価値を最大化することです。豊かな自然に囲まれた箱根の美術館は、日常から離れた旅先として、都市の美術館では得られない特別感や思い出、居心地の良さ、リフレッシュ感を提供することが望まれます。自然の中で心を開き、アートに触れる特別な時間を過ごすために訪れるお客様の気持ちに常に寄り添い、さらにここで何ができるかを追求してまいります。

以上のような三つの指針を持ち、箱根地域を中心とした多様なステークホルダーの皆さまと密接なパートナーシップを築くことで、アートを通じた地域の活性化と成長にも寄与したいと考えています。

ポーラ美術館では開館20周年の節目に、新たなビジョンとして「心をゆさぶる美術館」を掲げました。美術、自然、建築と人々が響き合う当館に、ヒューマンタッチとホスピタリティを加えることで、美と出あう喜びや感動をお届けし、より豊かな時間が生まれる場となるよう努めてまいります。

皆さまのご指導ご鞭撻のほどよろしくお願い申し上げます。

野口弘子

■ポーラ美術館について

2002年に「箱根の自然と美術の共生」をコンセプトに神奈川県箱根町に開館。印象派から20世紀にかけての西洋絵画を中心とした、国内屈指のコレクションを核とする展覧会を開催する一方で、現代美術の第一線で活躍する国際的な作家たちの作品も展示し、同時代の表現へと展望を拡げている。富士箱根伊豆国立公園という立地を生かした森の遊歩道では四季折々の豊かな自然を楽しめる。

開館時間：午前9時～午後5時（入館は午後4時30分まで）

休館日：展覧会の会期中は無休 ※**展示替えによる臨時休館あり**

所在地：神奈川県足柄下郡箱根町仙石原小塚山 1285

TEL：0460-84-2111

入館料：大人 ¥1,800 / シニア割引（65歳以上） ¥1,600 / 大学・高校生 ¥1,300 / 中学生以下無料 / 障害者手帳をお持ちのご本人及び付添者（1名まで） ¥1,000

※すべて税込 団体割引あり

公式サイト：<https://www.polamuseum.or.jp/>